

# ごとう通信

第76号

平成19年4月1日

ついに桜が咲きました。予報など

を見てみると三月の中旬くらいには暖かくなってお花見もできるのではないかと思いましたが、結局例年より一週間ほど早い感じでしょうか。三月最後の週末などは診療室そばを流れる神田川にも多くの方たちが集まり宴会をしていましたよ。

例年思うのですが、神田川の両岸から迫ってくる桜は東京の中でもかなり素晴らしい方ではないでしょうか。その割りにあまりメジャーでな



しょう。

さて、先日「がんばらない」などの著書で有名な鎌田實先生と対談する機会がありました。テレビや雑誌などで拝見する通り、とても穏やかでユニークな方でした。内容は、雑誌「かいこの学校」に掲載されますのでお楽しみに。

## 本のこと その2

僕の作家デビュー作「愛は自転車に乗って〜歯医者とスルメと情熱と」(一橋出版 定価1680円)が ついに書店発

売されました。三月二十八日に紀伊国屋などに並びと聞いていた

ので、当日訪問診療の合い間をぬって紀伊国屋新宿南口店に駆け込みました。さっそく新刊本コーナーをキヨロキヨロ。ところが、残念ながら陳列されておらず肩を落として帰ろうとしました。その時、脇にある「日本文学 男性作家」という棚が目にとまりあわてて移動。「あ行、か行、か、き、く、…ないなあ」と思った瞬間見覚えのある表紙が目にとまりました。なんと、名だたる有名作家に囲まれて平積みされていたのです。思わずにんまり。お隣は宗教家でもある作家の玄侑宗久氏でした。僕は自分の本を一冊手にとり周りを観察。残念ながら見つられて手に取る人はいませ

